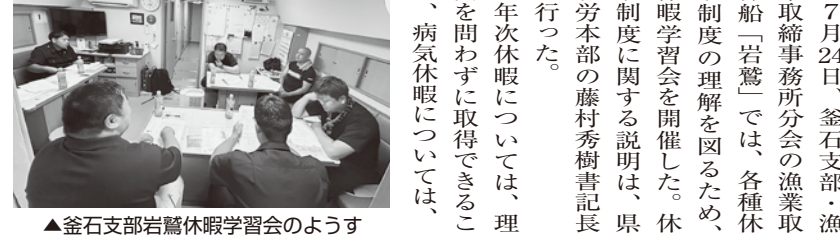


金石支部・漁業取締船出港 権利拡大に向け休暇学習会開催



▲金石支部岩鷹休暇学習会の様子

7月24日、金石支部・漁業取締事務所分会の漁業取締船「岩鷹」では、各種休暇制度の理解を図るため、休暇学習会を開催した。休暇制度に関する説明は、県職労本部の藤村秀樹書記長が行った。

年次休暇については、理由を問わずに取得できること、病気休暇については、再び勤務した日から6月以内で同一疾病により再度病休取得が可能なこと、病気休暇期間が通算されること、1週間を超える病気休暇は医師の証明書の提出が必要であり、1週間を超えない場合でも所属長判断で証明書類（医療機関の領収書等）の提出を求められる場合があること等を藤村書記長が説明した。

特別休暇については、産前休暇について「母性保護のため必要な場合」は請求すれば一律に適用され、産前8週の休暇取得が可能であること、子の看護等休暇は昨年の確定闘争を経て今年度から拡大され、入学式、卒業式、授業参観等も対象

盛岡支部では7月25日に青年婦人部の高谷琢人さんを講師に、昇給・昇格の仕組みの学習会を開催した。今回の学習会では、今年4月1日に人事課がインフォメーションに掲載をした「昇格の実施基準について」の実施基準についてどのように昇給・昇格が行わ

れているかという基本的な考えを学んだ。

採用区分（高卒・大卒・中途採用）によって扱いが異なり、標準的な例を示した。また、昇格の目安について、かつては標準的な昇格の基準（勤務経歴〇〇年だと、〇級〇号給となる）があったが、地域給の導入（2006年）や査定昇給制度の導入（2007年）などにより、標準的な昇格の目安がなくなったこと、査定昇給制度の影響等をなくし、一般的に積み上げた場合の目安として、大学卒業程度の場合（新卒者）は、満10年の経歴で主任3級に昇格する取扱いとなるなど、標準的なモデルケースを示していた。きながら説明を受けた。

主査級以上の任用については、人事評価により異なる状況にある。人事評価制度の導入により機械的に評価をするということではなく、人が人を評価するということとなり、評価者によっては不透明な部分が多くなるという事実や、この評価は職場内の割合で定められており、かつ上司の判断基準が明確でない、業務内容に差をつけるなどといった問題が指摘されている。盛岡支部では、賃金や各種制度の問題点など現状を洗い出し、今後も様々な学習を進めて、改善につなげていく問題が指摘されている。盛岡支部では、賃金や各種制度の問題点など現状を洗い出し、今後も様々な学習を進めて、改善につなげていく問題が指摘されている。盛岡支部では、賃金や各種制度の問題点など現状を洗い出し、今後も様々な学習を進めて、改善につなげていく問題が指摘されている。

二戸支部青年婦人部では、8月8日、二戸地区合同庁舎2階2-A会議室で「休暇の種類と賃金学習会」を開催した。須藤中央執行委員に講師を依頼し、賃金の基本的な考え方、休暇制度について学んだ。非組合員も含む6名が参加した。賃金については「自分たちの賃金の決定の仕組みを知る」と現在の賃金の概要、給与明細書の見方を知らる項目に分けて説明いただいた。実際の流れも踏まえて賃金決定の仕組みを学んだことで、イメージがしやすかった。給与明細書の見方も、普段あまり意識して確認しない項目の意味を改めて知ること、自分の賃金を振り返るよい機会となった。

今年度の学習会には若手以外の参加者もおり、改めて制度を学びたいというニーズがあることが分かった。組合員必携の活用や、今後の学習会を検討したい。

賃金も休暇も自分たちの生活に直接的に関係するもの。理解を深めることで、より適切な制度の使い方ができる。今後も二戸支部では様々な形で学習の機会を提供していく。

久慈支部・共済学習会開催 じちろうマイカー共済を利用して「もしもの時」に備えよう!

7月31日、久慈支部は組合員及び採用2年目迄の職員を対象に「共済学習会」を開催、28人が参加した。開催に先立ち県職労本部北崎次長は「8月4日の週に国の人事院勧告が行われる予定。国家公務員は月例給、一時金共に増となる見通し。また、国の人事院勧告に応じて岩手県職員の給与が決まるが、皆さまの働きがい確保のためにも国と同等以上の増額となるよう取り組む」とあいさしました。

その後、こくみん共済coop全労済 自治労共済推進本部岩手県支部より「交通事故の刑事責任と公務員の身分」について説明がありました。

まず「交通事故を起こして起訴された場合、拘禁刑以上となる公算が高い」と、及び「分限条例のない岩手県職員の場合、執行猶子の有無に関わらず拘禁刑以上で失職となる」ことに触れ「じちろうマイカー共済の弁護士費用等補償特約

（賠償対応補償付）は起訴前から顧問弁護士等が積極対応することでこれまで多くの組合員の失職を防止してきた」と、及び「2025年4月1日以降を共済期間の開始日とする契約より主たる被共済者が、公用車を運転し、公務中に事故を起こした場合であっても、その特約を適用できる（※ただし、当該公用車が他社運搬危険補償条項に規定する他の自動車に該当する場合に限る）」ことを説明しました。

もしもの時に備え、じちろうマイカー共済未利用の方はこの機会に是非利用をお願いいたします。

見たことある？ **県職労ホームページ**

県職労ではホームページを開設し、これまでの組合活動のほか、機関紙、赤舂も掲載しています。休職制度や処遇などの情報がつまった組合員必携は、通勤手当や住居手当の算出方法、いつどんな休暇が何日取れるのかも載っており、一人で調べたい時に便利！ぜひご活用ください。 URL: <https://www.iwatekensyoku.or.jp/>

組合員限定ページはIDとPWが必要です。組合に加入して、IDとPWをゲットしよう。書記局にお問い合わせください。

スマートフォンでも **こくみん共済 NEWS** 5123A033

掛金見積もり依頼ができます!

ステップ1 スマートフォンで二次元コードを読み込んでアクセス!

ステップ2 車検証(自動車検査証記録事項)や自動車保険証券(共済証書)の画像の登録、必要事項を入力して依頼を完了!

ステップ3 後日、掛金見積書をお渡します。

必要事項入力時のご注意

- 県番号欄には[51]
- 団体番号欄には[XXXXX]
- お名前欄には「組合員本人のお名前」を入力してください。
- ※団体番号は組合ごとに異なります。※画像がブレないようにご注意ください。

こくみん共済(全労済) 自治労共済 推進本部

「不明な点があれば、まずは組合に二連絡ください。」

「契約にあたってはパンフレットをご確認ください。」

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神のもとつき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

8・1現業評議会・独自要求書提出・交渉 「現業職」の賃金・労働条件の改善を

8月1日、現業評議会（菅原薫議長、畜産研究分会）は、今年度の独自要求書を県山参事兼人事課総括課長に提出、交渉を行いました。

【①運転士・守衛】 人員確保の基本姿勢について、県山総括課長からは「運転士は日々の公用車の点検整備や安全な運行を通じて、業務遂行に大きく貢献している職種であり、担う業務の必要性は高いと認識。人事課としても、各土木部等の事情や、採用実施の要望等を県土整備部へ確認しながら一緒に考えていきたい」と回答。県庁車庫の運転士及び県庁守衛については「これまでも適

正な体制の確保を検討、運転士は昨年度に2名を新規採用した。守衛は警察官OBを任用し、3名体制を維持。今後も過去の経緯を踏まえつつ、管財課とも調整し、適切に対応していく」との姿勢にとどまった。交渉団は「加齢や大型機械への対応等で体力的に厳しい。また、振興局では一人体制の職場も増えている。引継ぎを含めた人材育成の観点からも、計画的な新規採用を強く求める」と訴えた。

【②技能員の増員について】 「主管部とも協議しながら新規採用を行っている。退職者補充も含めた人員配置に関する要望は受け止めている。私自身も各各所の状況などを直接聞きながら対応していく」との姿勢に

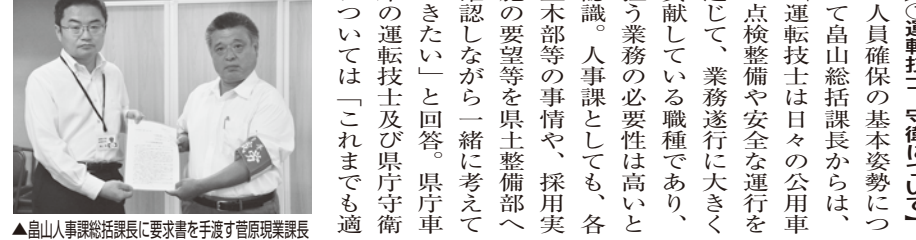
【③管財課交渉】 運転士及び守衛の補充の原則に変更はない。運転士17人、守衛3人体制は維持できるよう努める。守衛は不審者対応等もあり警察OBを採用。運転士の配置は、年齢や本人の希望を踏まえ検討。公用車更新は、要望どおり対応出来たと考えている。今後の更新の際は、環境性能のほか航続距離も考慮していく。

【④農林水産企画交渉】 各職場の技能員は、過酷な労働環境に加え、最低限度の人員で体制を回している現状は認識している。人員確保の要望は勿論、業務のあり方も考慮していく。エアコン未設置及び故障中の話があることは承知しており、安全安心かつ健康

【⑤県土整備企画交渉】 施設の維持管理、人口減少や制度等の改正、新規業務対応等課題が山積している現状から、運転士の重要性は高い。技術の継承や運転士の連携のためにも、体制確保に努める。特殊機械への対応は知識や経験も求められるため、事務職・技術職を含めた組織的な連携を検討していく。

【⑥農林水産企画交渉】 各職場の技能員は、過酷な労働環境に加え、最低限度の人員で体制を回している現状は認識している。人員確保の要望は勿論、業務のあり方も考慮していく。エアコン未設置及び故障中の話があることは承知しており、安全安心かつ健康

【⑦県土整備企画交渉】 施設の維持管理、人口減少や制度等の改正、新規業務対応等課題が山積している現状から、運転士の重要性は高い。技術の継承や運転士の連携のためにも、体制確保に努める。特殊機械への対応は知識や経験も求められるため、事務職・技術職を含めた組織的な連携を検討していく。



▲山山人事課総括課長に要求書を手渡す現業職代表

【①運転士・守衛】 人員確保の基本姿勢について、県山総括課長からは「運転士は日々の公用車の点検整備や安全な運行を通じて、業務遂行に大きく貢献している職種であり、担う業務の必要性は高いと認識。人事課としても、各土木部等の事情や、採用実施の要望等を県土整備部へ確認しながら一緒に考えていきたい」と回答。県庁車庫の運転士及び県庁守衛については「これまでも適

【②技能員の増員について】 「主管部とも協議しながら新規採用を行っている。退職者補充も含めた人員配置に関する要望は受け止めている。私自身も各各所の状況などを直接聞きながら対応していく」との姿勢に

【③管財課交渉】 運転士及び守衛の補充の原則に変更はない。運転士17人、守衛3人体制は維持できるよう努める。守衛は不審者対応等もあり警察OBを採用。運転士の配置は、年齢や本人の希望を踏まえ検討。公用車更新は、要望どおり対応出来たと考えている。今後の更新の際は、環境性能のほか航続距離も考慮していく。

【④農林水産企画交渉】 各職場の技能員は、過酷な労働環境に加え、最低限度の人員で体制を回している現状は認識している。人員確保の要望は勿論、業務のあり方も考慮していく。エアコン未設置及び故障中の話があることは承知しており、安全安心かつ健康

【⑤県土整備企画交渉】 施設の維持管理、人口減少や制度等の改正、新規業務対応等課題が山積している現状から、運転士の重要性は高い。技術の継承や運転士の連携のためにも、体制確保に努める。特殊機械への対応は知識や経験も求められるため、事務職・技術職を含めた組織的な連携を検討していく。

【⑥農林水産企画交渉】 各職場の技能員は、過酷な労働環境に加え、最低限度の人員で体制を回している現状は認識している。人員確保の要望は勿論、業務のあり方も考慮していく。エアコン未設置及び故障中の話があることは承知しており、安全安心かつ健康

【⑦県土整備企画交渉】 施設の維持管理、人口減少や制度等の改正、新規業務対応等課題が山積している現状から、運転士の重要性は高い。技術の継承や運転士の連携のためにも、体制確保に努める。特殊機械への対応は知識や経験も求められるため、事務職・技術職を含めた組織的な連携を検討していく。

【⑧農林水産企画交渉】 各職場の技能員は、過酷な労働環境に加え、最低限度の人員で体制を回している現状は認識している。人員確保の要望は勿論、業務のあり方も考慮していく。エアコン未設置及び故障中の話があることは承知しており、安全安心かつ健康

取り巻く課題の改善に向け 結束を原動力に！ 宮古支部が定期大会を開催

7月22日、宮古支部では宮古地区合同庁舎3階大会室で開催した。

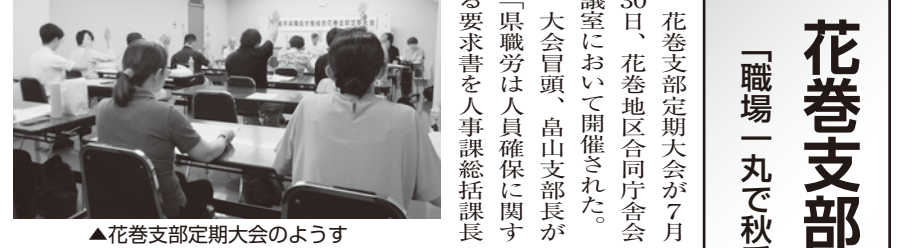
大会冒頭の遠藤支部長の挨拶では、人員不足による業務負担の増加、鳥インフルエンザへの貿易対応など、私達を取り巻く状況が日々変化している中で、組合の力は改めて問われていることを強調した。そうした中、宮古支部では職場での声を丁寧に拾いながら人員不足

への対応や老朽化した庁舎の修繕等、職員が安心して働ける環境づくりを目指し、昨年度は支部の独自要求を行っている。2025年度の運動方針では、「組織強化の取り組み」、「職場・労働条件の課題への対応」を柱とし、若年層の加入促進に向けた学習会や交流会の開催、職場環境改善に向けて各職場や各分会で問題点を共有し課題解決に向けて支部独自交渉を行う等、方針が提起された。その他、執行部から経過・会計の報告、予算や各専門委員会の設置について提案され、全

大会には連合岩手宮古地域協議会をはじめ多くの来賓から、大会への祝辞と激励の挨拶をいただいた。終わりに「みんなで討論、みんなで考え、みんなで行動する組合をつくりあげよう！」の大会スローガンを確認し、最後に遠藤支部長の閉じた。

「優秀な人材を惹きつけ、選ばれる公務員にするための取組」として、「人材確保につながる福利厚生の充実」「人材確保に効果的と考えられるあらゆる選択肢を可能な限り民間企業に劣らないものとしていくよう努める必要がある」▼これは2025年3月に国家公務員のなり手不足・早期退職の課題を受け、人事行政諮問会議が発した最終提言の一部▼この提言には、福利厚生の具体として「宿舍の建設・改修、オフィス環境の整備・改善や転居の際の負担軽減など」の記載もある▼さて、わが職場の「福利厚生」はどれほどのものか。異常気象ともいえる酷暑にあつて、冷房環境はどうだろうか。一括管理の弊害で、フロアによって温度に違いがあることは皆実感しているところ。プラインド

佐々木書記長からは「みんなで討論、みんなで決定、みんなで行動」する運動を構築するため、実態から積み上げた要求を、組合員全体で共有化し、賃金労働条件の改善や業務量に見合った人員確保に向けた取り組みを柱とした運動方針を提案し、満場一致で採択された。

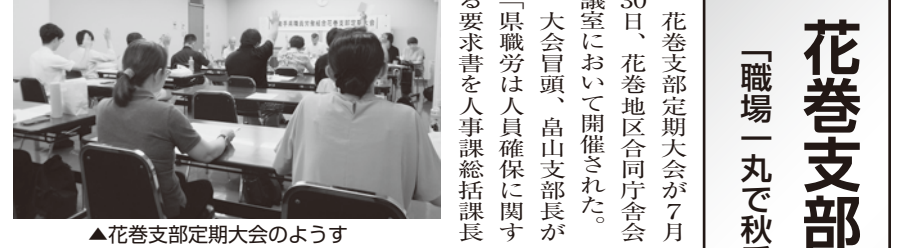


▲花巻支部定期大会の様子

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

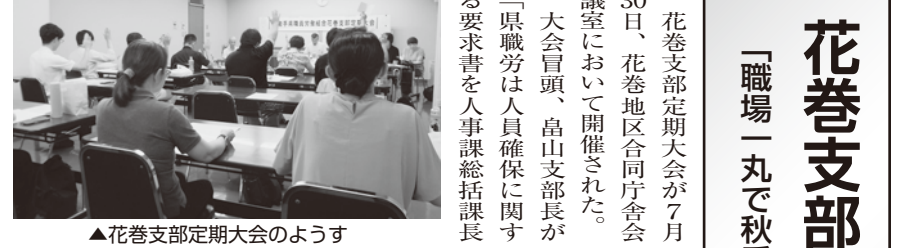


▲花巻支部定期大会の様子

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

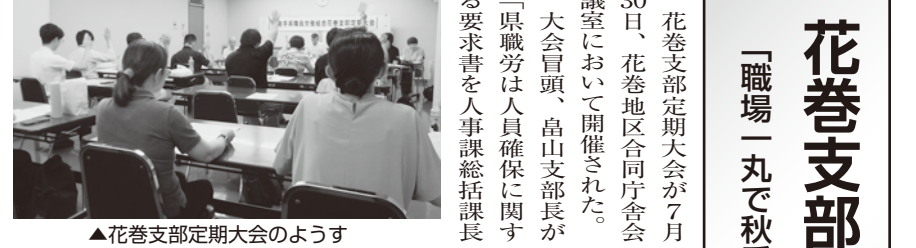


▲花巻支部定期大会の様子

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長



▲花巻支部定期大会の様子

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長

花巻支部定期大会が7月30日、花巻地区合同庁舎大会室において開催された。大会冒頭、県山支部長が「県職労は人員確保に関する要求書を人事課総括課長